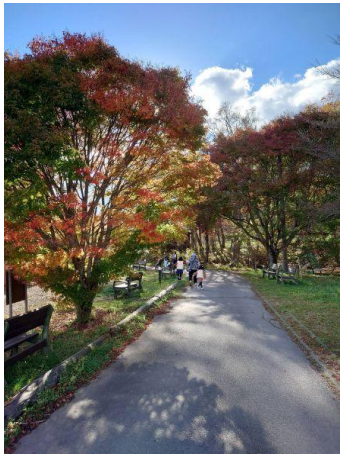
「家がいいね」第２６９号

いせ在宅クリニック　広報月刊紙

2026.11.4





１０月末は、お休みをいただき、山梨県への旅に出ました。近くの雨がやみ、山に雲が当ります。

独立峰の富士山の傘の上の初冠雪が見えました。新幹線からの姿と違って連山を従え、悠々ですね。

雨があがると高原の木々には紅葉の始まりが色鮮やかでした。捲れた形の落葉があり見つけた孫娘がミノムシだ！　と大喜び。

潔（いさぎよ）くなくても、一生

看取りのたびに、この人や家族に会えて良かったなあと思います。何事かを成すというのでなく、生き切ったという感慨です。誰かの賞賛を得るために、死ぬ形を整えなくてもいいのだと思います。

時々夢想します。また命が与えられ、このように意識が持てるなら何という奇跡かと。ただ人に生まれ変わるのは複雑だ。「私は貝になりたい」という映画を思う。人を殺す羽目の戦争は嫌だ。

話は替わるが、１０月１７日夜に松阪で実施のリレーフォーライフの写真。がんの当事者と支援の人たちの行進。灯りには、亡くなった人を偲ぶ言葉や、いま在る命への感謝などが書かれている。

人として生まれての一生（ライフ）なら思いの丈を全うしたい。

潔いのは生きるためにしたいもの。誰かに潔く死ねと言われて従う世が来ては困る。だが「国のために」の嵐が近付いてきていると強く感じる。



在宅の先駆者

内藤いづみ先生は甲府市に居られます。「あなたも一緒に、写真とりましょ」と誘って頂き、交流が始まり、ほぼ３０年。

１１月１日の講演でも、在宅の真髄に触れられた。家族と共に発信が内藤先生スタイル。家々には、ホームの言葉と風がある。先生は流れ続けている日常の営みから、すくい取っては磨き、返す試みを続けておられる。

今度は、地元や韓国の報道と共に在宅の素晴らしさの広報を広げるとのこと。またまた、先生のパワーには驚かされた。

私も、自分のこれからの力を、ちゃんと使いなさいよと言われたと感じております。



私たちには、ゴミが見えますけど

最近読んだ本。「桃井ナースは、こころも看ます」の感想。訪問看護師３年目の桃井由乃には家の異変が見える。霧や冠水、砂漠の砂など。無意識に現れたり消えたり。はて。





休診のお願い

１１月２５日、１２月２３日、１月２７日毎月最終水曜日は研修で休診いたします。

また、１２月２７日（日）～１月３日（日）は年末年始の休診です。ご注意ください。

これら休日や時間外も、在宅患者さんには、対応していますので、ご安心ください。

ise home care clinic
いせ在宅クリニック
医療法人 あゆみ会

自宅での人生を
最期まで支援します

〒516-0079
三重県伊勢市大世古　2−6−12
電話　0596-20-8104
ファクス　0596-20-8105
メール　homecare@kr.tcp-ip.or.jp
https://isezaitaku.com

→バックナンバ閲覧可